

全国高総文祭参加報告書

美術工芸部門

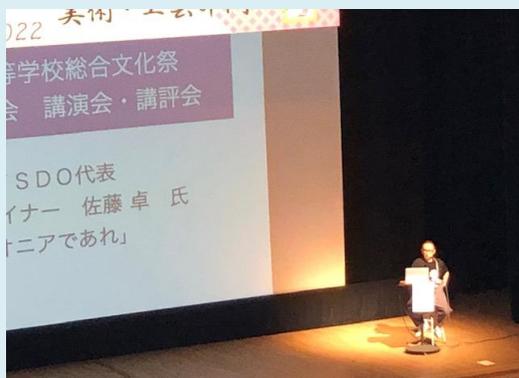
美術工芸専門部代表理事 三田 聡子 (不来方高等学校)

- 1 大会期日
 - ・ 令和4年7月31日 (日) ~8月4日 (木)
- 2 開催場所
 - ・ 東京都美術館 / 台東区立浅草公会堂 / 東京都立上野高等学校 (台東区)
- 3 参加生徒
 - ・ 畑中 みく (盛岡第三高等学校 3年)
 - ・ 畠山 千陽 (盛岡第四高等学校 3年)
 - 赤間 美咲 (不来方高等学校 3年)
 - 田口 実永 (不来方高等学校 3年)
 - 千葉 晴稀 (大東高等学校 3年)
 - 石川 愛葵 (一関第一高等学校 2年)
 - 平山 恵 (大船渡高等学校 2年)
- 4 大会日程
 - ・ 全国展 (東京都美術館)
 - ・ 7月31日 (日) ~8月4日 (木) ※8月1日 (月) 休館
 - 都道府県代表者会議 (浅草公会堂)
 - 8月1日 (月) 10:00~12:00
 - 開会式・講演会・講評会 (浅草公会堂)
 - 8月1日 (月) 13:30~16:00
 - 専門部会・顧問会議 (上野高等学校)
 - 8月2日 (火) 9:30~10:30
 - 交流会 (上野高等学校)
 - 8月2日 (火) 9:00~12:00
- 5 大会成績
 - ・ 全国高総文祭美術工芸部門は、作品の順位をつける性格の大会ではないため、大会成績はない。
- 6 その他 (全体についての感想等)

作品展示会場は東京都美術館で、書道・写真部門との同時開催であった。立体作品が書道会場に展示されるなど、他部門とのコラボレーションも見どころとなった。感染症対策や参加者誘導、交流会進行等、係生徒が活躍していた。作品については完成度の高い作品が多く見応えのある展示だった。記念公演はデザイナーの佐藤卓氏で、大変わかりやすく身近なところから考える内容で、生徒にとって有益であったと感じる。生徒交流会は県立上野高校にて行われ、少人数のグループが教室ごとに分かれて、自身の作品カードを使用した鑑賞会や伝統工芸である「江戸木目込み」技法による鞠の制作など、充実した内容であった。

大会の様子

グラフィックデザイナー・佐藤卓氏による「パイオニアであれ」と題した記念講演



江戸木目込み人形の技法で鞠を制作し、全国から集う生徒同士で交流を深めた。

